

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 103 平成29年4月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が
協力して設立した研究機関です。

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館6階

TEL : 092-733-5707 e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック : 琴性根氏 (BDI) 撮影

目次

◆URC資料室ニュース

- ①第4回ナレッジコミュニティ開催報告・・・1
- ②中島、コンプリートしたってよ！その後-3・・・2

◆URCニュース

- ①平成28年度市民研究員研究成果発表会等開催報告・・・2
- ②新職員からのご挨拶・・・3
- ③国際研修受け入れ報告・・・3

◆URC資料室ニュース

①第4回ナレッジコミュニティ「福博の街 花を飾っておもてなし～花の美しい都市をめざして～」を開催しました！ 都市政策資料室で、ただ今、写真展開催中！



3月21日火曜日13:00～14:30、福岡市役所1階の多目的スペースにおいて、本年度第4回目のナレッジコミュニティを行いました。今回は、URC市民研究員受入事業がきっかけで

発足した「福博：花まち研究会（以下＝花まち研）」の活動報告とワークショップでした。

講師は花まち研事務局長の藤原正教さんと会員の山本祐介さんで、藤原さんからは、一昨年から15か月にわたって行った都心部の花の定点観測調査の結果報告を行い、山本さんからはフラワーシップやスポンサー花壇など福岡市の取り組みをご紹介しました。引き続き行われたワークシ

- ④研究紀要「都市政策研究 第19号」投稿論文募集・・・3
- ◆今月のおすすめ「fU+17号 “パイオニアスピリット福岡”」・・・3
- ◆URCメディア紹介情報・・・4
- ◆「資料速報 平成29年3月受入分」・・・別添

ョップでは、3～5人のグループに分かれ、4つのテーマについて話し合っていたいただき、これからの花まち研の活動や今後のまちづくりについて、とても参考になる意見をいただきました。年度末のお忙しい中にもかかわらず、30名のご参加、誠にありがとうございました。

会場では当日11時から16時まで、花まち研誕生のきっかけや、設立後5年間毎月1回続いている定例会をはじめ、年1回の視察研修、「fU+」「研究紀要 都市政策研究」への投稿など、多岐にわたる活動を振り返る写真や資料を、会員が撮りためた世界や日本の都市の花の美しい演出事例写真と共に展示いたしました。また、会員のおひとりである吉原春造さん(日本ハンギングバスケット協会福岡県支部副支部長)の花の作品が、毎年春に花で来福者をもてなす都心のイベント「花しるべ」に先駆けて会場を彩りました。ナレッジコミュニティ終了後の会場では、写真や資料をご覧になった方々の熱心なご質問に丁寧にお答えする会員の姿がありました。



なお、当日会場に展示しました写真や資料、皆様に書いていただいた付箋類は、現在資料室入り口に展示していますので、この機会にご覧くださいましたら幸いです。

写真出典：福博：花まち研究会ご提供（山崎三枝 司書）



②中島コンプリートしたってよ その後-3



第3回ナレッジコミュニティ「中島、コンプリートしたってよ」については、さまざまところで反響があり、各地でその内容を紹介していますが、28年度最後として山口市役所主催の『しごとのはなしvol.2「行政の手作り玉手箱」』にて行政機関がどうしてゲームをテーマに地域活性化を考えるのかについてお話ししました。来場者は、行政関係者、まちづくりのNPO関係者、起業家など多岐にわたり、質疑応答も熱気を帯びていました。

明治維新の策源地らしく、日本を山口から変えたいという想いをたくさんいただく場でもありました。

写真ご提供：山口市（中島賢一 調整係長）

◆URCニュース

①平成28年度 市民研究員「研究成果発表会」「福岡市への報告会」および「修了証授与式」を行いました。



昨年7月から約9か月間にわたり活動を続けてきた平成28年度市民研究員6名による研究成果発表会を平成29年3月12日アクロス福岡で開催しました。

今年度は「さらなるグローバル化時代に向けての福岡市のまちづくり」をテーマに、月2回の定例研究会での討議や個々の自主的な調査・研究、福岡市のオープントップバスへの試乗(外国人観光客の目線で検証しました)さらに中間報告会等を実施し、各々が多忙な生業を抱える中、大変充実した活動を続けてきました。

個別の研究テーマは以下の通りです。(発表順)

『多文化共生社会の構築に向けた福岡市民の意識向上を目指す政策に関する研究』… 岡田 憲二郎 氏

『福岡市における多言語センターの構築とネットワークの確立に関する研究』… 古賀 尚子 氏

『グローバルシティにおける都市機能としてのコミュニティとメディア』… サーズ 恵美子 氏

『福岡市のブランド作りについて ～東洋一幸福な都市へ』… 鄒 艶 氏

『世界中の起業家を集め、世界の創業特区をめざす政策に関する研究』… 古澤 秀和 氏

『女性起業家と女性フリーランスの協働を促進するプラットフォームに関する研究』… 矢野 裕樹 氏



また、3月29日には福岡市を訪問し、研究成果の報告や提言を行い、研究に対するコメントと、これまでの活動に対する労いや今後の活躍への期待の言葉をいただきました。

その後の修了式では、すべてをやり遂げた市民研究員の皆さんの達成感・充実感に満ちた印象的な表情の中、中沢副理事長がひとりひとりに感謝



を込めながら修了証を手渡し、すべてを締めくくりました。

市民研究員の研究成果は「研究報告書」として、平成29年5月中に発行予定です。

写真出典：URC撮影（夏井圭介 主任研究員）

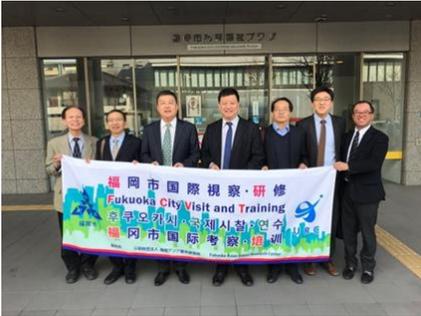
②新職員からのご挨拶！

アジア交流チーム 主任研究員 嶋岡和久

4月1日付で、地場地方銀行より公益財団法人福岡アジア都市研究所に赴任しました嶋岡です。

1986年4月より31年間銀行で仕事をしてまいりました。銀行での経験を活かして、皆様と一緒に福岡市が住みよい街であり続けられるように努力してまいります。

③国際研修受け入れ報告



2017年3月、中国の「大連市政府」と、韓国の「釜山市機長郡障害人福祉会館」、「首都圏埋立地管理公社」、「水原市政府」が福岡市を訪れ国際視察研修プログラムに参加

しました。各訪問団の申請を受け付けてから、プログラム参加のためのアレンジメントを行いました。①「大連市政府」は、福岡市危機管理対策の取組みに関する講義を受けたあと、福岡市民防災センター、山王公園雨水調整池など、防災関連の施設を視察し、大都市の危機管理対策について研修を行いました。②「釜山市機長郡障害人福祉会館」は、福岡市市民福祉プラザの視察を通して、先進的な高齢者福

総務係長 松隈信一

福岡市からの派遣により4月1日で総務係長に赴任しました松隈です。前職は、中央区役所保険年金課で国民健康保険などの業務に携わっておりました。福岡とアジアの発展、そして、福岡市がさらに住みよい街となるよう、微力ながらも努力してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



祉施設の調査を実施しました。③「首都圏埋立地管理公社」は、クリーンパーク臨海工場と3Rステーションを視察

し、ごみ焼却施設の設置及び運営に関する事例を調査しました。④「水原市政府」は、今後の業務の参考にするため、クリーンパーク東部、東部資源化センターなど、福岡市の先進的なごみ焼却関連施設を視察しました。福岡市関係機関の皆様のお陰で、海外来訪者の皆様に有益な視察研修機会を提供できました。これからも、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

写真出典：URC撮影（李 英雄 国際視察研修担当）

④研究紀要「都市政策研究 第19号」の投稿論文を募集します！

『都市政策研究 第19号』に掲載する投稿論文を募集します。論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめたものとし、特に、福岡市の都市政策に対する何らかの提言的な内容を含むことが望ましく、新規性または有用性のあるもので、原則として未発表のものに限ります。

投稿期限は、査読を要する論文は2017年8月31日、査読を要しない論文は2017年9月29日です。投稿資格は、原則としてURC職員、福岡市職員、または賛助会員の方ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合はこの限りではありません。

◆今月のおすすめfU+17号 “パイオニアスピリット福岡”

“都市を考え、都市を創る”情報誌として、刊行物fU+を年に1回発行しています。今回の編集にあたる思い出



△ サイン入り
「熱狂する現場の作り方」

のひとつは、インタビューです。実業家であり投

投稿規定の詳細はURCホームページに掲載しています。投稿を検討・希望される場合は、下記まで事前(6月末まで)にご連絡(ご相談)をお願いします。また、皆様のお知り合いやお近くに論文を發表されたい方や、興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

ご投稿をお待ちしております！

【専用メールアドレス：toshiseisaku@urc.or.jp】

(山本美香 主任研究員)



△ fU+17号 表紙
荒波にも屈せず情熱をもってスタートアップするイメージ

資家の孫氏は、とても優しい声で、私の想像するイメージとは全く違いました。しかし一旦インタビューが始まると、穏やかながらもスタートアップにかけその熱い想いが伝わってきました。そして孫氏とは真逆の松山氏。とにかく熱い！しゃべり

も熱い。モノづくりにかける想いは、情熱の塊です。インタビュー時間は1時間ほどで、ぎゅぎゅっと凝縮された内容を fU+ で掲載しています。最後に、松山氏が執筆された「熱狂する現場の作り方」(サイン入り)を頂きました。

◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2017/4/4 建設通信新聞 12p)

長崎市/BTO 交流拠点と民間施設/6月16日まで受付
URC OB 谷口博文さんが審査会の会長を務める。

(2017/4/1 毎日新聞 地方版 22p)

カネジユウ館:きょうランドオープン 童話の里に観光客を 地元食材生かし喫茶と軽食提供 玖珠町森地区/大分/ アジア都市景観賞受賞地区として紹介される。

(2017/3/26 毎日新聞 地方版 29p)

どこでも美術館:アート楽しんで 福岡市美術館、出張イベント/福岡

市民研究員 OB 藤浩志さんが出張イベントを行う。

(2017/3/24 西日本新聞 朝刊 32p)

「地域金融機関は中小企業支援を」福岡財務支局シンポ
URC OB 谷口博文さんがパネル討議で発言

(2017/3/23 中国新聞 朝刊 26p)

空き家の課題や活用法を考える広島で26日セミナー
市民研究員 OB 吉原勝己さんがパネル討論に参加予定のセミナーの開催予告

(2017/3/22 日建建設工業新聞 12p)

建築学会近畿/大阪市でシンポ開く/持続可能社会の住まいデザインテーマ

市民研究員 OB の吉原勝己さんが「大家さんの仕事の観点から」を講演 (☆印=以下関連記事)

(2017/3/21 建通新聞(大阪版) 1p)

建築学会近畿がシンポジウム開く ☆

(2017/3/19 朝日新聞 朝刊 35p)

安心の耐震 浸透まだ 福岡沖地震の警固断層帯 新築ビル 費用・間取りを重視

URC OB 大塚政徳さんがコメント

(2017/3/17 建設通信新聞 11p)

住まいのデザインビジョン/建築学会近畿支部がシンポ☆

(2017/3/15 西日本新聞 朝刊 10p)

オープンデータが、まちを、九州を、変えていく 九州サイコー！ 会議「オープンデータの利活用でより豊かな社会に」村上和彰 BODIK 会長

URC が BODIK の構成メンバーとして紹介される。

(2017/3/14 西日本新聞 朝刊 23p)

福岡県/中枢4都市で福岡「1番」URC が札幌、仙台、広島と都市力比較 出入国など 国際的指標が突出 久保隆行 上席主任研究員の研究紀要「都市政策研究第18号」掲載論文が紹介される。

(2017/3/11 山形新聞 朝刊 9p)

山形市 販路開拓支援セミナー 医工連携の在り方学ぶ
URC OB 山本匡毅さんが講演(*印=以下関連記事)

(2017/3/10 科学新聞 1p)

「国立大の教育研究と国の支援 国民の理解が重要」学術会議がシンポ

当研究所の資料室にその本を貸出していますので、fU+ と合わせて、その情熱を感じてください。

(足立麻理子 総務課)

安浦寛人理事長が「国立大学の連携と ICT」について説明

(2017/3/9 日本経済新聞電子版ニュース)

日本商業不動産保証、ベンチャー企業の入居・移転サポートプロジェクトに西日本シティ銀行が参画
URC「Fukuoka Growth July2016」の開業率が引用される。(# 印=以下同じ)

(2017/3/8 東京新聞 朝刊 28p)

学術会議声明案「ガラス細工の議論」委員「分かりづらい」批判も

安浦寛人理事長が軍事研究についてコメント(@印=以下同じ)

(2017/3/8 中日新聞 朝刊 7p)

軍事研究禁止 文言なし 学術会議声明案 戦争定義あいまい @

(2017/3/6 建設通信新聞 11p)

持続可能社会の住まいのデザインなどでシンポ/建築学会近畿支部 ☆

(2017/3/5 河北新報朝刊 21p)

大河原「えぞこホール」20周年祭/キッズダンサー 節目祝い/きょうまで

市民研究員 OB 藤浩志さんがイベントを監修

(2017/3/2 建設通信新聞 12p)

国土計画を海外展開/ノウハウ輸出でシンポ/国土計画協と国交省

野田順康特別研究員が基調講演を行う。

(2017/3/1 山形新聞 朝刊 9p)

山形市 3月10日に医療機器産業の動向学ぶセミナー*

◎雑誌

(2017/3/24 国立国会図書館 調査と情報

NUMBER952: 公共施設の整備・運営における民間活用—PPP/PFI 推進の方向性と課題—)

10p URC OB 谷口博文さんの論文が引用される。

(2017/2/15 九州経済調査月報 2017年3月)

12~17p アジアの高齢化と九州 九経調創立70周年記念事業 九経調未来セミナー講演録—九州地域の30年後を考える—

小川全夫特別研究員の講演録が掲載される。

◎Web 情報

(2017/3/29 Bloomberg)

波音とジャズを聴きながら、起業は「渋谷のど真中」より福岡で #

◎ラジオ

(2017/3 毎週金曜日 ローカルラジオ放送こみてん 18:00~18:25)

スポガで Ready Bowl!! 市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。